

科目名	職場管理学						
担当講師	櫻田 義樹						
実務経験の概要	理学療法士 医療施設において実務経験を有する。						
履修年次	4	単位数	1	時間数	30	開講時期	後期
授業形態	講義						

**授業概要**

管理とは何か、ということを通じ、様々な観点から理学療法の現場における管理の必要性を学修します。

**学修到達目標**

1. 管理とは何かを理解出来る。
2. 管理の種類と考え方を理解出来る。
3. あるべき管理者の姿について考察できる。

**授業計画**

- |      |                   |
|------|-------------------|
| 第1回  | 管理総論①             |
| 第2回  | 管理総論②             |
| 第3回  | 管理組織①             |
| 第4回  | 管理組織②             |
| 第5回  | リハビリテーション科における管理① |
| 第6回  | リハビリテーション科における管理② |
| 第7回  | 業務管理①             |
| 第8回  | 業務管理②             |
| 第9回  | データ管理             |
| 第10回 | 労務管理①             |
| 第11回 | 労務管理②             |
| 第12回 | 医療安全①             |
| 第13回 | 医療安全②             |
| 第14回 | 職能団体              |
| 第15回 | 演習 総括             |

**評価方法**

筆記試験

**教科書**

プリント教材

**参考図書・文献**

リハビリテーション管理学（医学書院）

**履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)**

学生諸君は現在管理される側にいますが、臨床においてはあらゆる場面で管理が必要となります。未来の事と思わず、しっかり学修してください。

科目名	地域理学療法実践実習						
担当講師	長野由紀江 佐藤浩哉 中嶋奈津子						
実務経験の概要	長野由紀江 : 理学療法士 医療施設において実務経験を有する。 佐藤浩哉 : 理学療法士 医療施設・介護保険関連施設において実務経験を有する。 中嶋奈津子 : 理学療法士 医療施設・介護保険関連施設において実務経験を有する。						
履修年次	3	単位数	2	時間数	60	開講時期	後期
授業形態	講義/実技/実習/オムニバス						

### 授業概要

在宅生活を送る対象者の生活を知るとともに在宅生活者への理学療法介入を経験し、在宅介入における課題や介入特性を理解する。

### 学修到達目標

1. 在宅生活における理学療法の目的、役割を理解できる。
2. 在宅生活者の課題を理解できる。
3. 在宅生活者の課題を解決するための介入を理解できる。

### 授 業 計 画

第1回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論①	長野由紀江
第2回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論②	長野由紀江
第3回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論③	長野由紀江
第4回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論④	長野由紀江
第5回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論⑤	長野由紀江
第6回	地域理学療法実践実習 訪問理学療法概論⑥	長野由紀江
第7回	地域理学療法実践実習①	訪問施設実習担当
第8回	地域理学療法実践実習②	訪問施設実習担当
第9回	地域理学療法実践実習③	訪問施設実習担当
第10回	地域理学療法実践実習④	訪問施設実習担当
第11回	在宅生活者の問題と課題①	長野由紀江
第12回	在宅生活者の問題と課題②	長野由紀江
第13回	在宅生活者への介入①(身体機能への介入)	佐藤浩哉
第14回	在宅生活者への介入②(身体機能への介入)	佐藤浩哉
第15回	在宅生活者への介入③(物的環境への介入)	佐藤浩哉
第16回	在宅生活者への介入④(物的環境への介入)	佐藤浩哉
第17回	在宅生活者への介入③(人的環境への介入)	佐藤浩哉
第18回	在宅生活者への介入④(人的環境への介入)	佐藤浩哉
第19回	在宅生活者への介入③(制度・社会資源の利用)	佐藤浩哉
第20回	在宅生活者への介入③(制度・社会資源の利用)	佐藤浩哉
第21回	医療介護連携①	佐藤浩哉

第22回	医療介護連携②	佐藤浩哉
第23回	地域参画への課題と推進①	中嶋奈津子
第24回	地域参画への課題と推進②	中嶋奈津子
第25回	ケーススタディ①	中嶋奈津子
第26回	ケーススタディ②	中嶋奈津子
第27回	ケーススタディ③	中嶋奈津子
第28回	ケーススタディ④	中嶋奈津子
第29回	まとめ	長野由紀江
第30回	まとめ	長野由紀江

### 評価方法

提出課題

### 教科書

プリント教材

### 参考図書・文献

### 履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)

実際の訪問理学療法を経験することで、在宅生活者の生活状況や課題を考える機会となります。対象者、実習に協力いただく関係者への敬意や感謝を忘れず学習してください。尚、講義予定は授業の進行状況を勘案して適時変更となることがあります。

科目名	総合実習						
履修年次	4	単位数	16	時間数	720	開講時期	通年
授業形態	実習						

**実習目的**

1. 理学療法における一連の業務を実践出来る。
2. 論理的思考過程を実践出来る。
3. 施設職員の準理学療法士として、適切な行動ができる。

**実習概要**

指導者の指導のもと、一連の理学療法を実践します。

**学修到達目標**

1. 理学療法について一連の流れを理解できる。
2. 理学療法業務を実践できる。
3. 臨床実習施設において準職員としての行動を取れる。

**評価方法**

提出課題70% 実習生評価記録指導者総合評価30%

**履修上の留意点及び講義時間外の学習(予習・復習)**

学内での学修に励み、別に発行される「臨床実習のしおり」を熟読したうえで望んでください。